

仁愛女子短期大学研究成果一覧

本一覧は、本学職員が、研究成果を本学紀要及び本学関係機関紙以外で、平成28年1月～平成29年3月末日までに発表したものである。

【著 書】

	著書の名称	単著、 共著の別	発行の年月	発行所等の名称	概 要
田中 洋一	教育工学選書Ⅱ 『教育分野におけるeポート フォリオ』	共著	平成29年 2月	ミネルヴァ書房 pp.141-156	eポートフォリオ・リテラシースキルに基づき授業を設計した上で、SECIモデルに基づき暗黙知と形式知のサイクルを設計することにより、学習コミュニティが活性化され、知識創造サイクルが促進する事例を報告。 第6章「eポートフォリオと学習コミュニティ」の「eポートフォリオを利用した知識創造サイクル」の節を担当。 監 修：日本教育工芸会
賞雅さや子	『家庭支援論・ 保育相談支援』	共著	平成29年 2月	学文社 pp.160-168	保育士養成課程における科目「家庭支援論」「保育相談支援」のテキスト。「児童福祉施設における保育相談支援」の項を担当。 編 集：成清美治、真鍋顕久 執筆：相戸晴子、大城亜水他
	『相談援助』	共著	平成29年 3月	学文社 pp.159-163	保育士養成課程における科目「相談援助」のテキスト。「相談援助の事例」の項を担当。 編 集：成清美治、真鍋顕久 執筆：上續宏道、川上輝昭他

【論 文】

	学術論文の名称	単著、 共著の別	発行の年月	発表雑誌等の名称	概 要
田中 洋一	ディープ・アク ティブのための 問いと関係性の デザインと実践Ⅰ	共著	平成29年 3月	日本教育工 学会研究報 告集17(1) pp.703-708	大学連携で実施する地域の問題解決型の授業を3年間試行した結果、深く学習をするためには「問い」を立てることと、「関係性」を構築することが重要だという結論に達した。受講者が問い立てることと関係性をつくることを地域の問題解決型の授業の中でどのようにデザインしたかを報告。 共 著 者：山川 修、田中洋一、谷内眞之助、 長水壽寛、近藤 晶 本人担当：プロジェクト評価

【論 文】

	学術論文の名称	単著、 共著の別	発行の年月	発表雑誌等の名称	概 要
田中 洋一	ディープ・アク ティブのための 問いと関係性の デザインと実践Ⅱ	共著	平成29年 3月	日本教育工 学会研究報 告集17(1) pp.709-714	年間の試行の結果、複数の大学の学生が参加する 地域の問題解決型授業で、深く学習をするために 「問い」を立てることと、「関係性」を構築するこ とが重要だという結論に達した。問いと関係性の デザインを取り入れた、地域協働学習をどのよう に実践し評価したかを報告。 共 著 者：田中洋一、山川 修、谷内眞之助、 長水壽寛、近藤 晶 本人担当：事後学習の設計、学習評価
	大学生の将来展 望や自己成長感 に対する4年間 の意識の変化	共著	平成28年 5月	日本教育工 学会研究報 告集16(2) pp.73-78	福井県大学間連携事業では、各参加機関の学生の 特徴を理解し、教育改善に関わるIRデータを提 供することを目的に、2010年度から毎年学生意識 調査を実施。本稿では、2012年度から2015年度に かけて実施した4年間の調査のうち、学生の将来 展望と自己成長感に関して年度間での比較を行っ た。2012年度から一部の機関において実施した記 名式調査による経年変化の結果と併せて報告。 共 著 者：徳野淳子、田中洋一、山川 修 本人担当：仁愛女子短大における調査
	タブレット必携化 による授業設計 ーエビデンス ベースの学習成 果アセスメント に向けてー	共著	平成28年 4月	仁愛女子短 期大学研究 紀要 第48号 pp.13-19	仁愛女子短期大学生生活科学学科生活情報専攻で 2015年度から開始したWindowsタブレット無料 貸与によって、エビデンスベースの学習成果アセ スメントに向け、どのような授業設計をしている かを報告。また、貸与タブレットに関するアン ケート調査に関して分析。 共著者：田中洋一、前田博子、平塚紘一郎
前田 敬子	学生の「読み聞か せ」の実情と課題 ～「心の理論」を ふまえた伝え方～	単著	平成28年 4月	仁愛女子短 期大学研究 紀要 第48号	学生にとって読みやすい絵本とそうでないもの がある。実習時の学生の読み聞かせの振り返りを集 積し、成功しやすい絵本とそうでない本を明らか にし、難しさの在り処を探った。幼児が他者の心 を理解できて初めて理解できる話がある。心理学 を学んで「心の理論」を理解することが絵本選び にも必要である。また、登場人物のそれぞれの思 いが伝わるような読み聞かせ時の音声化のスキル も、授業を通して養っていきたい。
	創られた山川登 美子像 ～『恋衣』『百合 』の方法～	単著	平成29年 3月	福井大学言 語文化学会 『国語国文学』 第五十六号	山川登美子の『恋衣』収録歌に対する与謝野鉄幹 の二度の添削を検証した結果、登美子の自筆稿 本『花のちり塚』は『恋衣』編纂資料として用 意された原形の集と分かった。『花の…』『明星』 『恋衣』三者の呼応から、『恋衣』収録時、鉄幹は 『明星』掲載時の添削経験の無い新しい歌を見つ けては直し、『明星』掲載歌も再度直した。その 過程で晶子とは異なる登美子の印象が創られた。 平成28年12月3日の口頭発表をもとに活字化した。

	学術論文の名称	単著、 共著の別	発行の年月	発表雑誌等の名称	概 要
乙部 貴幸	乳幼児期における選好の発達について	単著	平成28年 4月	仁愛女子短期大学研究紀要 第48号 pp.35-42	乳幼児期における選好の発達の变化とその形成過程に関する総説。様々な選好の側面を、Natural Pedagogy理論と相乗的相互作用モデルから説明し、今後の展望を論じた。
	実証的な遊び研究への期待	単著	平成29年 3月	ベビーサイエンス vol.16, pp.32-33	佐藤鮎美「母仔間コミュニケーションによる生物学的絆形成」へのコメント論文。論文中的数据解釈についての指摘と今後の遊び研究への展望について論じた。
香月 拓	「初期の仏教僧伽と女性との関わり」	単著	平成28年 4月	仁愛女子短期大学研究紀要 第48号 pp.43-49	釈尊在世時のインドにおいて女性の出家を認めることは、乞食生活を基本としている僧伽にとって俗世間との軋轢が生じる可能性があった。そのような時代において、なぜ釈尊は女性を受け入れたのか。また、女性たちが出家後、俗世間や教団内でどのように扱われていたのか。これらの点に注目しながら、パーリ語文献を読み解いた。
賞雅 さや子	保育者養成校における科目「仏教保育」試論	単著	平成28年 3月	西山学苑研究紀要 第11号	京都西山短期大学における科目「仏教学概論Ⅱ（仏教保育）」の展開を通して、仏教保育と保育者養成について論じた。共に生きる仏教保育の実践において、子どもと保育者が、人間がより良く生きることに深く関わる「信」の世界に触れ合うために、養成課程では自己表現に没頭する体験が重要であるとした。
野本 尚美	日本人英語学習者による音読の分析	単著	平成28年 4月	仁愛女子短期大学研究紀要 第48号 pp.21-27	日本英語学習者の音読音声と英語母語話者のものと比較した結果、日本人英語学習者の音読においては平叙文における文末の下降が不十分であることや、ピッチ幅が小さいこと、文頭の語を高い音で発音する傾向があることがわかった。
	Moodleを用いた英語発音指導システムの開発	共著	平成28年 4月	仁愛女子短期大学研究紀要 第48号 pp.29-33	学生の英語発音能力の向上を目的とし、PraatとMoodleを連携させたシステムを開発した。実際に授業の中で使うことを想定した設計について考察した。 共著者：平塚紘一郎、野本尚美
平塚 紘一郎	Moodleを用いた英語発音指導システムの開発	共著	平成28年 4月	仁愛女子短期大学研究紀要 第48号 pp.29-33	音声解析ソフトウェアの「Praat」と、学習管理システムの「Moodle」を連携させた英語発音指導システムについて、構築したシステムの開発の背景や詳細を述べ、システムの有用性を示した。 共著者：平塚紘一郎、野本尚美
増田 翼	しつけ研究の課題を再検討するーしつけ研究の成果はしつけ手に届いているのかー	単著	平成28年 4月	仁愛女子短期大学研究紀要 第48号 59-68	①しつけ手を取り巻く環境とはいかなるものなのか、②しつけ研究の成果はなぜ活かされていないのか、という2点について見ていくことで、これまでのしつけ研究の〈枠組み〉やしつけ研究者自身の〈姿勢〉を根底から問い直すことを試みた。

	学術論文の名称	単著、 共著の別	発行の年月	発表雑誌等の名称	概 要
内 田 雄	Body Sway and Muscle Activity during Assisted One-and Two-leg Stances in the Elderly.	共著	平成28年 5月	Advances in Research (Vol.7, No.3, p1-9)	片脚立位を1分間成就できない非成就高齢者を対象として、両脚立位時及び手の前方及び側方補助を伴う片脚立位時の脚筋活動量および重心動揺量を検討した。結論として、手の補助位置に関係なく、片脚立位時は、両脚立位時より腓腹筋およびヒラメ筋の筋活動が大きい。しかし、前脛骨筋の筋活動および左右方向の動揺量は、前方補助時においてのみ両脚立位時より大きく、側方補助時は前方補助時より小さい。 共著者：Uchida Y, Demura S
	Differences in leg muscle activity and body sway between elderly adults able and unable to maintain one-leg stance for 1 min: the effect of hand support.	共著	平成28年 8月	Aging clinical and experimental research (Vol.28, No.4, p669-677)	1分間のOLSテスト成就群と非成就群を対象に、手の補助および片脚立位成就能力が片脚立位時の筋活動量および重心動揺量に及ぼす影響を検討した。手の補助により片脚立位中の筋活動量および重心動揺量は減少し、1分間大きな変動はないこと、非成就群は、成就群に比べ補助を伴う片脚立位中の前脛骨筋の活動が活発であることが明らかとなった。 共著者：Uchida Y, Demura S
	Agility characteristics of various athletes based on Successive Choice Reaction Test.	共著	平成28年 11月	American Journal of Sports Science and Medicine. 4 (4), 98-102, 2016.	我々が開発したオープンスキル系統技選手の敏捷性を評価する連続選択反応テストを運動種目経験の異なる8群間で比較した。その結果、オープンスキル系統技選手はクローズドスキル系統技選手よりも連続選択反応テストの成績に優れることが明らかとなった。 共著者：Tsubouchi S, Demuras, Uchida Y, Matsuura Y, Uchida H
前 田 博 子	特殊技術加工によるテキスタイル制作の可能性 個展packing...からの研究報告	単著	平成28年 4月	仁愛女子短期大学研究紀要 第48号 pp 1-5	学校法人福井仁愛学園後援会研究成果発表経費の助成をうけ、テキスタイル制作における特殊加工（フロック加工）での研究を行ない、個展を開催した。その際に考えた事柄や布と梱包資材との関係性を職人の技術や手仕事との関係性を融合させた作品群についての報告である。
	タブレット必携化による授業設計エビデンススペースの学習成果アセスメントに向けて	共著	平成28年 4月	仁愛女子短期大学研究紀要 第48号 pp13-19	本学生生活情報専攻において、2015年度から開始したWindowsタブレット必須化による授業設計についての学習成果の報告である。 共 著 者：田中洋一、前田博子、平塚紘一郎 本人担当：「衣生活論」でのタブレット活用事例

【学会発表】

	研究発表の名称	単著、 共著の別	発表の年月	発表学会等の名称	概 要
岩田 章子	越前茶の小腸における糖消化酵素阻害作用	共著	平成28年 5月	第70回 日本栄養・ 食糧学会大会	福井県で飲用されている豆入りほうじ茶（越前茶）についてラット小腸管膜アセトンパウダーから調製した粗酵素に対するマルターゼ阻害効果について検討した。すでに阻害作用が報告されている柿の葉茶、桑の葉茶と同様に越前茶はマルターゼ阻害作用が観察された。また、中高年女性を対象に行った事例検証から、日常的な越前茶の食前飲用が食後血糖値の急上昇を抑制する可能性を見出した。 共著者：岩田章子、森 恵見
大西 新吾	記号現象としての会計－仕訳文の「かたち」－	単著	平成28年 7月	現代会計研究会	会計という人間の行為をひとつの記号現象としてみると、会計表現の中心にある仕訳文には限られた「かたち」があることが見えてくる。では、なぜこのような「かたち」になるのか。カタストロフィ理論、言語の格関係、メディアロジーの視点から、身体性と場所にカテゴリー性の根拠が求められうることを報告した。
田中 洋一	Analysis of Learning Activities in Learning Community Using Simple Accelerometer Sensor Data	共著	平成29年 3月	SITE2017 (The 28th International Conference: Society for Information Technology and Teacher Education)	We investigate how and what extent we can use the data acquired from accelerometer sensor to analyze and guess the states and activities of students in a group learning situation. Some research shows that the combination of infrared sensor and accelerometer sensor can effectively give information about the interaction between students, and other research shows that the combination of simple accelerometer also can be used to detect the collaboration in a group learning situation. We compare between these two combinations of sensors, and show how the analysis based on accelerometer sensor alone can be applied to the analysis of learning community. 共 著 者：多川孝央、田中洋一、山川 修 本人担当：地域協働学習の運営
	大学連携で取組む地域協働学習の設計と評価－デザイン思考を用いた探究的学習の実践－	共著	平成28年 9月	日本教育工学会 第32回全国大会 講演論文集 pp.729-730	福井県の高等教育機関が連携して実施している地域の問題を解決する授業では、授業設計として、エンゲストロームの探求的学習の枠組みと、デザイン思考のプロセスを融合させたものを採用している。本発表では、授業設計の概要とその評価方法を説明し、PBL (Project-Based Learning) やアクティブラーニングの有効な授業設計とその評価方法に関して報告。 共 著 者：田中洋一、山川 修、谷内眞之助、長水壽寛、多川孝央 本人担当：プロジェクトの評価

	研究発表の名称	単著、 共著の別	発表の年月	発表学会等の名称	概 要
田中 洋一	大学の授業におけるeポートフォリオを活用した学習評価	単著	平成28年 9月	日本テスト学会 第14回大会	短期大学にて開講しているプログラミング科目、キャリア科目、ジェネリックスキルを身につける科目等において、どのようにeポートフォリオを活用してパフォーマンス評価をしているかを紹介。
	eポートフォリオを用いた学習成果の可視化－仁短生活情報専攻の戦略－	単著	平成28年 9月	Mahara オープン フォーラム2016	仁愛女子短期大学生活科学学科生活情報専攻の戦略であるeポートフォリオを用いた学習成果の可視化について、事例を示して報告。
	eポートフォリオ学習を習慣化するプロンプトの設計	共著	平成28年 8月	第41回 教育システム 情報学会 全国大会 講演論文集, pp.183-184	基礎学力、学習意欲、将来への意欲が低い最近の大学生に対して、主体的で深い学びを創発させるため、学習を習慣化させる仕組みを提案。 共 著 者：田中洋一、森本康彦、宮崎 誠、 山川 修 本人担当：プロジェクトの統括
	福井県大学間連携事業（フレックス）で進める学生意識調査の5年間の歩み	共著	平成28年 7月	第5回 大学情報・ 機関調査研究会	福井県大学間連携にて、どのように学生意識調査を実施してきたか、またその課題について報告。 共 著 者：徳野淳子、田中洋一、杉原一臣、 山川 修 本人担当：仁愛女子短期大学での記名式調査等
谷 政八	高脂肪食の福井梅（紅映梅）果汁粉末のマウス投与による影響	共著	平成28年 5月	第70回日本栄養・食糧学会	共著者：台蔵彩子、浦本裕美、岡村友理香、 梅村由佳、池田涼子、鈴木和春、 谷 政八
	梅果汁粉末による食品中(おにぎり)の細菌増殖抑制効果の検証	共著	平成29年 2月	日本栄養改善学会 第12回北陸支部 学術総会	共著者：野村卓正、浦本裕美、水口富晶、 高岡憂美、台蔵彩子、鈴木和春、 谷 政八
	学生の食生活実態調査－食物摂取と塩分測定－	共著	平成29年 2月	日本栄養改善学会 第12回北陸支部 学術総会	共著者：大橋愛美、嵐川真智子、牧野みゆき、 谷 政八
前田 敬子	読み聞かせ振り返りシート～附属幼稚園、学校図書館、学生を結ぶ～	単著	平成29年 3月	第1回 日本保育者 養成教育学会	附属幼稚園の資料を基に学生は絵本を選び読み聞かせをするが、実習の読み聞かせをそのまま終わらせず、シートに記録し、蓄積したデータを後輩たちの絵本選びに活かすシステム作りをした。附属幼稚園や附属図書館と学生の学びを連携させる試みである。学生は、図書館のコンピュータで検索して、何歳児に何を読んだとき幼児がどのように反応したか、学生がどのように自己評価したかを事前に行うことができる。

	研究発表の名称	単著、 共著の別	発表の年月	発表学会等の名称	概 要
牧野みゆき	女子短大生の食生活実態調査—食物摂取アンケートと塩分測定—	共著	平成29年 2月	第12回 日本栄養改善 学会北陸支部 学術総会	本学学生の家庭の味噌汁の塩分濃度及びアミノ態窒素量を測定した結果、塩分濃度の薄い食物栄養専攻の味噌汁はアミノ態窒素とやや相関がみられた。食事調査においては、食物栄養専攻は他専攻より減塩の意識が強いことが示唆された。 共著者：大橋愛美、嵐川眞智子、小田真綾、鈴木恵利子、谷口保乃加、森景夕依、牧野みゆき、谷 政八
澤崎	地元企業等との連携によるPBL型授業設計とその実践	単著	平成28年 9月	日本教育工学会第32回全国大会講演論文集, pp163-164	学生がリアリティを持って学習できるようなPBL型授業を構築するにあたり、地元企業等との連携により課題解決型授業を実践したその設計手法および事例と課題報告。
敏文	地元企業・行政機関との連携によるPBL型授業設計とその実践	単著	平成28年 8月	教育システム情報学会第41回全国大会講演論文集, pp.299-300	学生がリアリティを持って学習できるようなPBL型授業を構築するにあたり、地元企業や行政機関等との連携により課題解決型授業を実践したその事例とその課題報告。
野本 尚美	視覚フィードバックが日本人英語学習者の発音に与える影響	共著	平成28年 6月	第46回中部地区英語教育学会三重大会	PraatとMoodleを連携させた英語発音指導システムを用いて個別発音練習を行い、視覚フィードバックがもたらす効果について分析した結果を述べた。 共著者：野本尚美、平塚絃一郎
	PraatとMoodleを連携させた英語発音指導システムの構築と実践	共著	平成28年 9月	日本教育工学会第32回全国大会	PraatとMoodleを連携させた英語発音指導システムの概要、利点などについて説明した。また実践報告を行った結果と今後の課題について述べた。 共著者：平塚絃一郎、野本尚美
	e-learningシステムを用いた英語発音指導の実践	共著	平成28年 12月	外国語教育メディア学会2016年度第88回秋季中部支部研究大会	PraatとMoodleを連携させた英語発音指導システムを用いて個別発音練習を行い、ピッチ波形を参照したグループと参照しなかったグループを比較した結果について述べた。 共著者：野本尚美、平塚絃一郎
平塚絃一郎	視覚フィードバックが日本人英語学習者の発音に与える影響	共著	平成28年 6月	第46回中部地区英語教育学会三重大会	音声解析ソフトウェアの「Praat」と、学習管理システムの「Moodle」を連携させた英語発音指導システムを用いて個別発音指導を行い、視覚フィードバックがもたらす効果について分析し結果を述べた。 共著者：野本尚美、平塚絃一郎
	PraatとMoodleを連携させた英語発音指導システムの構築と実践	共著	平成28年 9月	日本教育工学会第32回全国大会	「Moodle」と音声解析ソフトウェアの「Praat」を連携させた英語発音指導システムを用いた個別発音指導の実践報告を行った。 共著者：平塚絃一郎、野本尚美

	研究発表の名称	単著、 共著の別	発表の年月	発表学会等の名称	概 要
平塚絃一郎	e-learningシステムを用いた英語発音指導の実践	共著	平成28年 12月	外国語教育 メディア学会 2016年度 第88回 秋季中部支部 研究大会	「Moodle」と音声解析ソフトウェアの「Praat」を連携させた英語発音指導システムを用い、視覚フィードバックを参照したグループと、参照しなかったグループのピッチ変化量を比較した。結果、視覚フィードバックが発音指導に効果的である可能性があることについて述べた。 共著者：野本尚美、平塚絃一郎
嵐川眞智子	女子短大生の食生活実態調査－食物摂取アンケートと塩分測定－	共著	平成29年 2月	第12回 日本栄養改善 学会北陸支部 学術総会	本学学生の家庭の味噌汁の塩分濃度及びアミノ態窒素量を測定した結果、塩分濃度の薄い食物栄養専攻の味噌汁はアミノ態窒素とやや相関がみられた。食事調査においては、食物栄養専攻は他専攻より減塩の意識が強いことが示唆された。 共著者：大橋愛美、嵐川眞智子、小田真綾、鈴木恵利子、谷口保乃加、森景夕依、牧野みゆき、谷 政八
内田雄	一次予防事業に参加する高齢者の生活状況とADL、転倒リスク、生活空間および認知機能水準の関連性と性差	共著	平成28年 8月	第64回 日本教育医学会 大会	通所型介護予防教室に参加する地域高齢者の生活状況とADL、転倒リスク、生活空間および認知機能水準の関連性、及びそれらの性差を検討した。 共同者：山次俊介、出村慎一、内田 雄、石原一成
	女性高齢者におけるステップ反応テストの動作時間の性群間差	共著	平成28年 8月	日本体育学会 第67回大会	運動習慣の有無および年齢が連続選択反応テストの成績に及ぼす影響を検討した。 共同者：朝倉優子、出村慎一、藤谷かおる、内田 雄、嶋山進一
	最大握力が発揮力量の異なる局面における筋力発揮調整能に及ぼす影響－高齢女性を対象として－	共著	平成28年 8月	日本体育学会 第67回大会	高齢女性を対象に最大握力が発揮力量の異なる局面における筋力発揮調整能に及ぼす影響を検討した。 共同者：長澤吉則、出村慎一、青木宏樹、内田 雄
	若年者における閉眼片脚立位時の重心動揺量の経時変化	共著	平成28年 8月	日本体育学会 第67回大会	若年者を対象に、閉眼片脚立位時（120秒）の重心動揺量の経時変化を検討した。 共同者：内田 雄、出村慎一、青木宏樹、朝倉優子、嶋山進一
	地域女性高齢者の軽度認知障害と易転倒性を捉えうる有効な身体機能テストとは？	共著	平成28年 9月	第71回日本体力医学会大会	エクササイズとしても利用可能な種々の身体機能テストのうち、いかなるテストが軽度認知障害と易転倒性を捉えうるかを検証した。 共同者：山次俊介、出村慎一、内田 雄、石原一成
	地域高齢者の1分間開眼片脚立位時における重心動揺量の性差と経時変化	共著	平成29年 3月	日本体育測定 評価学会 第16回大会	高齢者を対象に1分間の開眼片脚立位時における重心動揺量の性差と経時変化を検討した。 共同者：平井博志、出村慎一、松浦義昌、内田 雄、川野裕姫子

	研究発表の名称	単著、 共著の別	発表の年月	発表学会等の名称	概 要
内田 雄	高齢者の開眼片脚時の姿勢保持時間と重心動揺の性差	共著	平成29年 3月	日本体育測定 評価学会 第16回大会	高齢者の開眼片脚時の姿勢保持時間と重心動揺の性差を姿勢保持能力の優劣を考慮して検討した。 共同者：松浦義昌、出村慎一、内田 雄、 長澤吉則、川野裕姫子
	踵立ちおよび片脚つま先立ちテストの信頼性	共著	平成29年 3月	日本体育測定 評価学会 第16回大会	従来のバランステストよりも難度が高いとされる踵立ちおよび片脚つま先立ちテストの信頼性を検討した。 共同者：内田 雄、出村慎一、長澤吉則、 平井博志、嶋山進一
森 恵見	越前茶の小腸における糖消化酵素阻害作用	共著	平成28年 5月	日本栄養・ 食糧学会	越前茶が腸管におけるブドウ糖吸収を抑制することが示唆された。 共著者：岩田章子、森 恵見
	次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理 福井県の家庭料理 主食の特徴	共著	平成28年 8月	日本調理科学会	福井県の秋祭りの経験値は44%と高く、全国5位である。そこで、ちらし寿司・赤飯・餅が、全国平均より多く食べられている。 共著者：佐藤真実、森 恵見、谷 洋子、 岸松静代
大橋 愛美	女子短大生の食生活実態調査—食物摂取アンケートと塩分測定—	共著	平成29年 2月	第12回 日本栄養改善 学会北陸支部 学術総会	本学学生の家庭の味噌汁の塩分濃度及びアミノ態窒素量を測定した結果、塩分濃度の薄い食物栄養専攻の味噌汁はアミノ態窒素とやや相関がみられた。食事調査においては、食物栄養専攻は他専攻より減塩の意識が強いことが示唆された。 共著者：大橋愛美、嵐川真智子、小田真綾、 鈴木恵利子、谷口保乃加、森景夕依、 牧野みゆき、谷 政八

【作品発表】

	作品の名称	単著、 共著の別	発表の年月	発表学会等の名称	概 要
重村 幹夫	「森Ⅰ」	単著	平成28年 8月	2016北陸二紀展、 金沢21世紀美術館	F120号（(112.0×194.0)、鉛筆、パネル 池田町の森林風景を描いた作品。
	「森Ⅱ」	単著	平成28年 10月	第70回二紀展、 国立新美術館	F120号（(112.0×194.0)、鉛筆、パネル 池田町の森林風景を描いた作品。
河野 久寿	長崎市立仁田佐古 小学校校歌 「こころはひとつ」	単著	平成28年 4月	長崎市立 仁田佐古小学校 入学式	作詞：山口広助 作曲：市原隆靖 編曲：河野久寿
	「天草に」	単著	平成28年 6月	天草第一病院 いっちゃん楽しい コンサート (天草クリニック)	編曲：河野久寿 (演奏) Vo：市原隆靖
	「フォークソング メドレー」	単著	平成28年 8月	長崎県立長崎南 高等学校同窓会 (ホテルグラバーヒル)	編曲：河野久寿 (演奏) Vo：市原隆靖
	ねんりんピック 長崎2016 「ある晴れた長崎 ファンファーレ」	単著	平成28年 10月	第29回全国健康福 祉祭ながさき大会 (ねんりんピック 長崎 2016) (長崎県立総合運動 公園陸上競技場)	作曲：河野久寿 (演奏) ねんりんピック長崎式典音楽隊 (吹奏楽) (スコア出版) 平成28年6月ねんりんピック長崎2016実行委 員会より出版
	ねんりんピック 長崎2016 「長崎さるぎ行進曲」	単著	平成28年 10月	第29回全国健康福 祉祭ながさき大会 (ねんりんピック 長崎 2016) (長崎県立総合運動 公園陸上競技場)	編曲：河野久寿 (演奏) ねんりんピック長崎式典音楽隊 (合唱・吹奏楽) (スコア出版) 平成28年6月ねんりんピック長崎2016実行委 員会より出版
	ねんりんピック 長崎2016 「ながさき旅行進曲」	単著	平成28年 10月	第29回全国健康福 祉祭ながさき大会 (ねんりんピック 長崎 2016) (長崎県立総合運動 公園陸上競技場)	編曲：河野久寿 (演奏) ねんりんピック長崎式典音楽隊 (合唱・吹奏楽) (スコア出版) 平成28年6月ねんりんピック長崎2016実行委 員会より出版
	「the Christmas song」	単著	平成28年 11月	サキナクリスマス パーティ (ホテルガーデン テラス長崎)	編曲：河野久寿 (演奏) Vo：市原隆靖
「波佐見に伝わる 子守唄」	単著	平成28年 11月	波佐見ライオン ズクラブ 結成50周年記念 いっちゃん 笑顔になれる コンサート (波佐見町総合文化会)	編曲：河野久寿 (演奏) Ob：市原隆靖	

	作品の名称	単著、 共著の別	発表の年月	発表学会等の名称	概 要
河野 久寿	「夢で逢えたら」	単著	平成28年 11月	第250回 イブニングライブ by長崎大学 (長崎県美術館 エントランス)	編曲：河野久寿 (演奏) Vla：小林知弘 Gt：得田真裕 Per：吉本ヒロ Pf：堀内伊吹
	「北の国から ～メインテーマ 遥かなる大地より～」	単著	平成29年 3月	長崎ケーブルテレビ 番組公開収録 『長崎発 日本歌旅 (につぼんうたたび)』 (長崎大学創楽堂)	編曲：河野久寿 (演奏) 木管アンサンブル・poe Ob：市原隆靖 Cl：小川 勉 Fg：種口敬明 Pf：堀内伊吹
前田 博子	packing...textile	単著	平成28年 4月	第15回 ベナール美術展 福井県立美術館	布を梱包資材として捉えたインスタレーション作品。エアパッキンを模倣したテキスタイルの制作
	packing...room	単著	平成28年 9月	開学70周年 金沢美大同窓会 金の美大展覧会 KANABISM福井展 福井県立美術館	金沢美術工芸大学開学70周年を記念した同窓会による金の美大展覧会にて、packing...textileを用いたインスタレーション作品。包まれたモノが集まることによって保護している保護されている様子を表現した作品群。
	en-ter あなたとわたしの つながるプロ ジェクト	共著	平成28年 11月 平成29年 2月 平成29年 3月	E&Cギャラリー 福井市美術館 ITOチカ	福井県内大学生等の定着促進推進事業として「センパイ」「コウハイ」をつなげるためのプロジェクトの発表会。「円」をキリトリ、つなげた洋服を制作し、それらを着用することで「縁」をつなげる洋服となっている。冊子制作における撮影会やWSの実施の報告会を含めた展覧会。 共著者：前田博子、佐藤美羽、森本遥香、松浦えり、川副景介

【演奏会への出演等】

	演目等の名称	発表の年月	会場等の名称	概要
大久保功治	第29回大久保功治フルートリサイタル	平成28年10月	県立音楽堂小ホール	<ul style="list-style-type: none"> ◦ バッハ／無伴奏組曲 ト短調 ◦ ハーティナー／「アイルランドにて」 ◦ 武満 徹／「海へ」他 共演：山本真美（ハープ）
	福井フルートパートナーズ定期演奏会	平成28年9月	県立音楽堂小ホール	<ul style="list-style-type: none"> ◦ バーネット／「SevenSouthernSketches」(指揮) 共演：福井フルートパートナーズ会員20名
河野久寿	「倭つみ唄」 「五木の子守唄」 「島原の子守唄」 「芦原節」 「民謡メドレー」他	平成28年7月	遊法師『玉響』 (めん茶房さえずり)	(演奏)『遊法師』 唄：恩地見佳 key、perc：田崎栄爾 bass：林 昌美 key：河野久寿 Dr：上坂朋祐 琴：石川麻紀
	「竹田の子守唄」 「五木の子守唄」 「島原の子守唄」 「芦原節」 「民謡メドレー」他	平成28年8月	遊法師『玉響』 (クラヴィアート音楽館(福岡県久留米市))	(演奏)『遊法師』 唄：恩地見佳 key、perc：田崎栄爾 bass：林 昌美 key：河野久寿 Dr：上坂朋祐
	「斎太郎節」 「五木の子守唄」 「島原の子守唄」 「赤田首里殿内」 「民謡メドレー」他	平成28年8月	『遊法師×市原隆靖』 ～玉響TAMAYURA～ (旧上海銀行長崎支店記念館多目的ホール)	(演奏)『遊法師』 唄：恩地見佳 Vo、Ob：市原隆靖 key：田崎栄爾 bass：林 昌美 key：河野久寿 Dr：上坂朋祐
	「漆かき唄」 「五木の子守唄」 「越前紙すき唄」 「芦原節」 「民謡メドレー」他	平成28年9月	第25回 観月の夕べ (本山誠照寺)	(演奏)『遊法師』 唄：恩地見佳 key：田崎栄爾 bass、key、perc：中野研也 key、perc：河野久寿 Dr：上坂朋祐
	「竹田の子守唄」 「芦原節」 「民謡メドレー」他	平成28年10月	第54回 青色申告会北陸ブロック大会懇親会 (あわら温泉グランディア芳泉)	(演奏)『遊法師』 唄：恩地見佳 key、perc：田崎栄爾 key：河野久寿
	「越前紙すき唄」 「芦原節」 「民謡メドレー」他	平成28年10月	高浜まちづくりネットワーク 『調べと語りの夕べ』 (瑞祥苑)	(演奏)『遊法師』 唄：恩地見佳 key、perc：田崎栄爾 bass、key：中野研也 key、perc：河野久寿 Dr：上坂朋祐
	「ソーラン節」 「漆かき唄」 「越前紙すき唄」他	平成28年10月	仁愛女子短期大学幼児教育学科音楽文化講座 「遊法師」 ～The Japanese fork music of modern style～ (仁愛女子短期大学)	(演奏)『遊法師』 唄：恩地見佳 Key：田崎栄爾 Key：河野久寿 Dr：上坂朋祐

	演目等の名称	発表の年月	会場等の名称	概 要
河野久寿	「足羽川」 「花は咲く」他	平成28年 11月	第5回ドナー ファミリーの集い (アオッサ 県民ホール)	(演奏)『楽衆玄達』 横笛：本禄和美 歌：土屋マミ Key：田崎栄爾 Key：河野久寿
木下由香	ヴァイオリン & ピアノコンサート	平成28年 5月	はれひより	松谷由美 (ヴァイオリン) 氏と共演。
	金沢市第九ブロック 保育士会コンサート	平成28年 6月	金沢 海みらい図書館	直江学美 (ソプラノ) 氏、ルドヴィート・カ ンタ (チェロ) 氏と共演。
	ちょっと素敵な音楽会 松谷由美 & 木下由香 デュオコンサート	平成28年 6月	福井新聞社 風の森ホール	フランク作曲ピアノとヴァイオリンのための ソナタ、シューベルト作曲ピアノとヴァイ オリンのための幻想曲、モーツァルト作曲 ピアノとヴァイオリンのためのソナタほか 松谷由美 (ヴァイオリン) 氏と共演。
	ぎふ・リスト音楽院 マスターコンサート	平成28年 7月	サラマンカホール	フバイ作曲ハンガリーの情景、マスネ作曲 タイスの瞑想曲 サバディ・ヴィルモシュ (ヴァイオリン) 氏と共演。
	福井交響楽団オータム コンサート2016	平成28年 10月	ハーモニーホール ふくい大ホール	チャイコフスキー作曲ピアノ協奏曲を堺武弥 氏指揮、福井交響楽団と共演。
	親子のための 虹色コンサート vol.4	平成29年 2月	福井市まちづくり センター「ふく+」	仁愛女子短期大学幼児教育学科生有志と共演。